

おりゅう柳

これは国道9号沿いの養父市八鹿町高柳のお話です。
浄瑠璃の「三十三間堂棟木の由来」という題名で、
文楽の人形芝居として上演され、全国的に広く知られています。

昔々、八鹿の高柳におりゅうという美しい女性が住んでいました。おりゅうが長い髪をすくと、離れた所にある大柳が、風のない日でもさわさわと揺れました。

さて、この頃、京では帝の病気回復を祈願するため、三十三間堂という寺が建てられることになりました。そして、材木に大柳が選ばれました。村人は守り神の大柳を切りたくなかったのですが、命令にはそむけません。さっそく切り始めますが、次の日、驚いたことに切り口がありません。また切り始めると、やはりあくる日の朝には切り口が無くなっています。

そこで村人たちは寝ずの番をすることにしました。

すると、夢に老人が現れ「柳の木を切りたいなら、木くずを焼いてしまえ」と言います。



「おお、あれはおりゅうの子だ」と声があがりました。おりゅうは柳が切り倒されると同時に、息を引き取っていました。結局、おりゅうの子が上に乗らないと、柳は動かなかつたそうです。おりゅうはやっぱり柳の精だったのでしょうか。

この柳を使った三十三間堂は、その後火事で焼けてしましました。残念ながら、今の建物はそれから後に建てられたものです。



11月18日が「土木の日」になった由来って知ってる?

これは、社団法人土木学会が1987年に定めたもので、11月18日は社団法人日本工学会が1879年に創設された日なんだ。また、11月18日を漢数字で書いてみると…
十一月十八日→十一→土木
“土木”という言葉になりますね!

「土木」のことをもっと知ろう!



「土木」イメージキャラクター
ドボッ君

「円山川」イメージキャラクター
がるるん

11月18日 金
土木の日



真剣な空気が漂う稽古場



本番前に集中する今井さん



「THE WINDS OF GOD」の名シーン
舞台は10月の札幌公演まで続く

今
井
舞
台
熱
血
談
義
vol.10

2001年9月9日・沖縄公演…。
私は、この日を最後にこの舞台の幕を降りました…降ろしたと言うより、この題材を封印しました…。その意味合では、1988年からの13年間、この作品をずっとやりつけ、様々なことがあり、少し疲れてしまったこと、その失望が大きかったからです。

そして、封印をしたその2日後に起つたのが、9・11アメリカ同時多発テロでした。私が沖縄のホテルで、たまたまCNNをライブで見ていた時に飛び込んできた映像でした…非常にショッキングでした。

次の日に、金米の有名紙に踊った文字が「KAMIKANE AT ALL」。この文字を見た時に、私が海外でやってきたこの10年間の意味はなんだったのか…一人の人間が問いかけること

が、なんにも立ち抜けなものだったのか…。その時に、もう一度やろう、もう多くの人たちに伝えなくてはいけないとそう感じて再開する事を決心しました。

そこから再開するまで「4年の月日がかかる」としまいましたが、映画、TVドラマ、そしてこの舞台と今年おこなうことができた理由です。

この作品を見ていただいた方々だけでも、今、世界で、そして日本で何かが変わろうとしていることを認識して、これからの人々のあり方を考えこむりえればと思います。

舞台は10月の札幌公演まで頑張って突っ走ります。私の渾身の作、映画版は今、編集の真っ最中…公開は来年になりますが、楽しみにしていてください。



【PROFILE】

- 1961年4月21日、兵庫県城崎郡日高町に生まれる。
- 1986年 奈良橋陽子演出「MONKEY」で舞台デビュー
- 1987年 ドラマ人間模様「姫約」(NHK)でテレビデビュー
- 文化庁主催芸術祭において「WINDS OF GOD」で史上初の原作・脚本・演技の三役で受賞
- 1993年 「WINDS OF GOD」で国際連合作家協会芸術賞受賞
- 1995年 「隠かな生活」で日本アカデミー賞優秀助演男優賞受賞大賞、キネマ旬報日本映画新人男優賞受賞
- 1999年 「WINDS OF GOD」ブロードウエイでロングラン公演
- 2001年 「カッコーの巣の上」 全国ツアー公演
- 2002年 「MAKOTO ~ゆく年くる年 Hello,Xmas~」 全国ツアー公演
- 2003年 「SUPPINふるうす サ・ムービー」 初監督作品、但馬での撮影完了
- 2004年 「SUPPINふるうす サ・ムービー」 初監督作品 ロードショー